

ようこそ赤ちゃん先生（2月4日、9日、18日）

2年生の家庭発展選択者82名が、茨木市内に住んでいる乳幼児とその保護者を学校へ招待し、交流するという授業を行いました。今年も多く親子さんに参加してもらいました。

冬休み前から準備を始めました。よびかけのチラシを配るところから自分たちで行い、会場の準備、当日の受付、運営も全て生徒たちでやりました。

最初は緊張ぎみだった会場も、お母さんたちの優しいサポートもあり、少しずつ子どもたちとやりとりができるようになりました。遊んでくれるか心配しながら作った手作りのおもちゃを手にとってもらえると嬉しくなります。子どもたちの反応が思っていたのと違ったり、以外なおもちゃの遊びかたをしてくれたり、勉強になりました。お母さんたちからも、子どもとの接し方や子育ての楽しさや苦勞を教えてください、教科書とは違った学びができました。



話すときは子どもの目線で、だったね



クラスリーダーのあいさつで交流スタート



マスクの下はどうなってるの？



いつもとは違った表情になります



何度も繰り返し遊びます 気に入ってもらえたかな？



大人気の玉入れです



優しい表情で子どもも安心します



どんな風に遊んでくれるかな



子どもの照れている様子もかわいいね



いないいない、ばあ〜♪



最後のあいさつ
たくさん勉強させてもらいました



次の時間は、子どものおやつを調理実習
自分たちの菓子とは違うことを学びます